



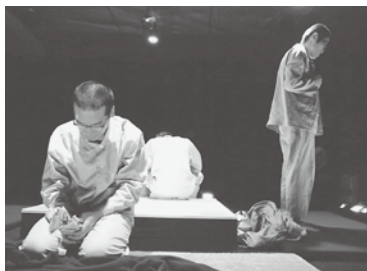
アクテノン

NO. 53

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ 自分が好きなこと



劇団B級遊撃隊公演
「青空プリズン」
演出 神谷尚吾
'06年11月23日～30日
姫池052スタジオにて

江戸時代、芝居町に行くためには河を渡ったそうです。ま、渡る為には橋を使う訳ですが、日本の橋には、二つの世界を分け隔てる境界、あるいは境界であることを示すシンボル、言い換えると神社の鳥居のような一つの結界の意味があるそうです。河を渡ることによって、日常から非日常へ…。非日常(虚構)の中にリアルを感じる。「非日常」これが好きだ。で、この非日常の中の「リアル」が厄介なんだ。「あ～あ、分かる分かる」のリアルじゃないんだけど、舞台上で何かしら握手が交わされる。でも、いつのまにか握手は切られ、舞台空間にズレの空気が流れる。これが好きだ。また、相手が分からない時の緊張。握手が出来ない。でも、握手をしようとする努力。この努力の空気の密度を感じるのが好きだ。

ある世界感の縮図ならシンボルである主人公または物。部分であれば、典型的な人たち。局部なら専門分野に詳しい人たち。別に人じゃなくてもいい。問題性でも。そんなことを戯曲の中から探理想像するのが好きだ。

俺は、自他共に認めるエロおやじだ。でも、生エッチを見せるのは嫌いだ。それに近い事をする劇団があるそうだが、俺はエッチを想像させるのが

神谷 尚吾 (劇団B級遊撃隊 俳優、演出家)

好きだ。これは、多感な思春期をへアー修正で育ち、本物を裏本で見たときのショックからだろうと思われる。例えば、触る。ただ触っているのを見せても面白くない。触っている感触を伝えたい。実際に触った方がいいのか？視線はどうする？距離はどうする？…変態だと思われるだろうが、疑似体験エッチをするのが好きだ。

ことばが相手に届く瞬間が好きだ。でも、なかなか届かない。ことばが相手に届くなんて考えたことないもん。このことばを誰に言っているのか、ことばで相手を動かす、ことばで握手する、ことばで相手を傷つける、ことばの音色が変わる。身体によってことばが変わるのか、ことばが変わるから身体が変わるのか分からないけど、ことばが力を持ち相手に届く瞬間が好きだ。

舞台空間を感じるのが好きだ。舞台上に風が流れる。風が流れた時に自分は空間を感じる。風…何だろ。絵でも風が流れているのが好きだ。映像では感じたことはない。空気はあるが…。感覚だけど舞台上に風が流れるようにいつも演出している。説明できないから好きなのかな。そういうことにしよう。以上自分が好きなことです。

おしまい。

トピックス

■ シニア演劇部



アクテノン シニア演劇部公演
「いっぽんのキ」
'06年12月15日～16日
中村文化小劇場にて

中村 須磨子 (18年度アクテノン シニア演劇部員)

「広報なごや」でシニアの演劇部員を募集しているのを見た。何事も「まずやってみる」という気持ちで参加した。運よく抽選に通ってアクテノンシニア演劇部員になれた。

初めての講座のとき周りを見回した。みんな50代初めのように、ピチピチしていてスマートだ。自己紹介を聞いていると、いろいろやっている様子が見えたりする。やる気満々のメンバーだ。どうやら、私が最高齢者のようだ。

「まあ、いいか。みんなの邪魔にならないように後ろからよたよたついていくことにしよう」

まず、佃典彦講師によるからだほぐしの体操、それから、発声練習、演技指導の順番に進んで行く。

先生の細かい指導を得て、少しずつ芝居らしくなっていく。虚を突のように表現していく過程がたまたまおもしろい。みんな俳優さん気取りで、すっかり役が身に着いている。

だんだん回を重ねていくうちに自主的に早めに

来て練習をするほどになった。すごい熱の入れようだ。毎週休まず通うことができたのも楽しいからだと思う。

この歳になって(68歳)演劇に夢中になって、1週間があつと言う間に過ぎていく。

「アクテノンに演劇の練習に通っている」と言うと「観に行くから、公演のチラシができれば見せてね」と言ってくれる友人が多くて嬉しい。友達や夫や妻や知人を誘って、観に来てくれた。

発表会のあとで、「昨年より格段の進歩がみられる」「5話の進め方がおもしろい」「学芸会のようなものかと思っていたら見ごたえがある」「声が小さくて聞き取りにくい」「来年も観に来る」とか観客からいろいろな声を聞く。

舞台上に出られるだけでも珍しい経験が出来た。佃先生やアクテノンの職員やスタッフのお陰でいい作品ができた。

アクテノン・シャワー

■ 舞台照明のワークショップを開催します。

毎年ご好評をいただいている、舞台照明のワークショップを今年度も実施いたします。なかなか勉強することができない「舞台照明」について、実際に触りながら学ぶことができます。また、実践での安全管理や舞台でのテクニックなど、あなたの質問にもお答えします。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成19年3月17日(土)～18日(日)

講師：村瀬 満佐夫(劇団翔航群)

受講料：2,000円(保険料を含む)

※なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

お問合せは、演劇練習館(T E L)052-413-6631まで。

■ 図書のご寄贈ありがとうございました。

次の方々から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

〔敬称略〕

長久手町文化の家

生方 哲

岡田 宏子

宝珠山 隆博

岡部 紀子

愛知県文化振興事業団

三浦 祐介

双身機関

山本 和良

渡邊 五輪男

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 TORIPEKOカンパニー



TOR IPEKOカンパニーの意味は、「虜にするお辞儀」です。お客様第一に考えた劇団を目指しています。移り変わりの激しい世の中に合わせ、毎回違った雰囲気のある作品に取り組んできました。そんな私達は仲間を募集します。入団条件は、演劇に誠実であること。新しいことを始めたい方、舞台上に興味がある方は是非見学にいらして下さい。

①2004年 ②6名

③継〜キズナ〜/スタジオ座・ウィークエンド('05) オレンジペコとラムネの恋/中川文化小劇場('06) 夢宵桜/theaterMOON('06)

④日坂朱里

☎(090)6572-0998

アクテノンに一言 高校生の頃からお世話になっております。職員の方々のあたたかさは、今も昔も変わりません。いつぞやは急な延長を快く受付けて頂き、本当にありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。

演劇 ジ・オイスターズ



私達「ジ・オイスターズ」は、昭和48年生まれの人々が集まってできた演劇ユニットです。只今メンバー募集中です。できれば昭和48年生まれの人。でも、そうでなくても全然結構です。基本的にユニットなので公演がある時しか活動しません。ゆる〜い感じで活動してますのでお気軽に連絡下さい。次回公演=4月19日～22日、第7回愛知県芸術劇場、演劇フェスティバル参加作品『うそつき村』です。興味のある人はぜひお越し下さい。よろしくお願い致します。

①2004年 ②約10名

③サイユウキ/南文化小劇場('06)

④中尾達也

アクテノンに一言 アクテノン、好き、夏、すずしい、冬、あったか、夜、おそいもいい けど、SUBWAY、ちょっとおい、ちょっとだけおい、でも俺、アクテノン、好き、うそつかない。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>KUDAN Project 新作公演 『美藝公(びげいこう)』</p>	<p>① 七ツ寺共同スタジオ ② 3月8日(木)・9日(金) 7:30、10日(土) 2:00 7:30、11日(日) 3:00、12日(月) 7:00 ③ 一般3,400円(当日3,800円) 高校生以下2,800円(KUDAN Project予約のみ) ④ ☎090-9929-8459 E-mail:kudan@officek.jp 「くだんの件」、「真夜中の弥次さん喜多さん」に続く二人芝居《最終章》。</p>
<p>バレエ・ド・ヘルメス 『第一回プチ・コンサート2007』 (クラシックバレエ)</p>	<p>① 南文化小劇場 ② 3月31日(土) 3:00開演 ③ 無料 ④ ☎090-4857-4874 (バレエ・ド・ヘルメス) 元気な子供達が思いの丈を!指先まで優雅に美しく春の蝶のように舞います!</p>
<p>お芝居処 新栄町 第2回公演 『煙が目にしみる』</p>	<p>① 中川文化小劇場(あおなみ線 荒子駅下車 徒歩1分) ② 5月11日(金) 7:00、12日(土) 2:00 7:00、13日(日) 2:00 ③ 一般2,000円 高校生以下1,500円(当日500円増) ④ ☎090-4160-8313 代表 金本 昨年5月に旗揚げ。今年も新緑まぶしい5月に公演。ぜひあおなみ線で観に来て下さい。</p>
<p>劇団あおきりみかん其の拾六 第7回愛知県芸術劇場演劇フェスティバル参加作品 『さらば、上空劇場』</p>	<p>① 愛知県芸術劇場小ホール ② 5月17日(木) 7:30、18日(金) 7:30、19日(土) 2:00 7:00、20日(日) 1:00 5:00 ③ 2,500円(当日2,800円) 大学生以下1,800円 高校生以下1,200円(学割は劇団予約のみ) ④ ☎090-8075-0683 (劇団) 上空劇場にあおきりみかんが挑戦!鹿目由紀、初夏の新作書きおろし!!</p>



編集発行/平成19年2月25日(年4回)
名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632
※この印刷物は再生紙(古紙100%白色度80%)を使用しています。

